



埼玉医科大学医学部 同窓会会報

第47号

平成22年6月



巻 頭 言

副会長 丸木 清之



副会長の丸木でございます。全国の卒業生の皆様方の、平素からの同窓会活動に対するご協力に心より感謝申し上げます。私自身は、若輩者であり、僭越ではありますが、順番でありますので、少し筆を取らせていただきます。前回巻頭言を書いてから3年ほどがたちました。国際医療センターも開設され4年目を迎えましたので、日高キャンパスのその後や、その他のキャンパスの現在と卒業生の活躍について紹介したいと思います。

日高キャンパスでは、保健医療学部が設置されてから、今年の3月に始めて看護学科、健康医療学科、医用生体工学科から卒業生を送り出すことが出来ました。建物以外は全て一から作られたような学部でしたが、今では900人を超す学生が学んでおり、今年度からは修士課程も設置されました。医学教育のエキスパートであり、現代医学教育の元祖とも言うべき大野良三先生が、学部長として教育をマネジメントしておられますので、教育内容は、日本有数の質であると思っております。卒業生の辻准教授（S63年卒）が、大野学部長の右腕として教育の中核となり頑張っておられます。国際医療センターは、開設し4年目を迎えました。3年目には600床のフルオープンを実現いたしました。現状では、特に、がん患者の入院待ちが多く、来年度以降には、がんセンターを100床増床することとなります。卒業生では、救急の根本教授（S63年卒）が、院長補佐として活躍しております他、脳卒中外科の杉山講師（H9年卒）や小児心臓外科の枡岡講師（H8年卒）などの卒業生もしっかりと診療科を支えております。今年の7月には病院機能評価の受審も控えております。また、新しい病院であり、

エントランスなど斬新なデザインもあって、テレビや映画の撮影に幾度となく使われております。心臓、がん、脳卒中、救急に特化した病院であり、総合病院である大学病院と補完しあいながら、二つの病院で1つの医療サービスが完結する精神を忘れてはならないと思っております。

毛呂山キャンパスは、大学病院の病棟部分の改修がほぼ終了いたしました。大学病院の診療と教育の中核である総合診療内科、ERをより充実していくことが大きな課題といえます。卒業生では、呼吸器内科の永田教授（S58年卒）が院内のアレルギー診療の中心としてだけでなく、研究活動においても大いに活躍をしておられます。また消化器外科の篠塚教授（S60年卒）が院長補佐として頑張っておられ、外科系の救急医療を支えておられます。また、来年度より、新しい教育棟が外科別館跡地に完成をいたします。IT機能が充実し、またフレキシビリティも優れた建物であり、少人数教育から従来型教育まで、どんなものにも対応可能となっております。在校生の皆さんは大いに楽しみにしていただきたいと思うと同時に、これを大いに活かして良い成果も挙げていただきたいと思います。

川越キャンパスは、総合病院と高度救命救急センター、総合母子周産期医療センターを備えた病院ではありますが、社会の求めもあり、これから救急と周産期のより一層の充実をなくてはなりません。今年度より、計画的に整備が始まります。こちらは、救急の杉山教授（S53年卒）や神経内科の野村教授（S53年卒）が卒業生を叱咤しながらリードしておられます。産婦人科などの周産期医療においても齊藤准教授（S63年卒）や長井助教（H9

年卒)など多くの卒業生が頑張っております。

以上のように、それぞれのキャンパスで、整備も進みかつ卒業生が重要な役割を果たしております。まだまだ活躍ぶりを紹介したいのですが、紙面の都合もありますので、次回を楽しみにして下さい。これからは、本学卒業生が、卒業生同士や他大学の出身者と大

いに切磋琢磨し、刺激しあいながら大学の中心を担っていただけることを期待しております。私自身も少しでも大学の役に立てるよう研鑽してまいりたいと思っております。卒業生と在校生の皆様の益々のご活躍と、埼玉医科大学同窓会の更なる発展を祈念し、巻頭言を終わらせていただきます。



大学病院本館



国際医療センター



ヒポクラテスの木（日高キャンパス）



保健医療学部正面



総合医療センター 総合周産期母子医療センター



ドクターヘリ（総合医療センター）

（写真提供：広報室）

お 知 ら せ

第12回埼玉医科大学医師会産業医研修会開催のお知らせ

平成22年度(第12回)産業医研修会(基礎－後期・実地, 生涯－更新・実地・専門)の日程が決まりましたのでお知らせいたします。プログラムは下記の通りです。皆様のご参加をお待ちいたします。

プログラム 第12回埼玉医科大学医師会産業医研修会 日医申請中 2010年

10月10日(日)

時 間	テーマ・講師	取得単位内訳
9時50分		
10時-12時	(1)産業医の活動と労働安全衛生管理体制の活用のすすめ方 産業医科大学 学長 和田 攻	基礎:後期(2) 生涯:更新(2)
12時-13時	昼食	
13時-15時	(2)これからの健康診断と事後措置のすすめ方 産業医科大学 学長 和田 攻	基礎:後期(2) 生涯:専門(2)
15時-17時	(3)働く人の呼吸器疾患とその予防の実際 北里大学医学部部長 相澤好治	基礎:後期(2) 生涯:専門(2)
17時-18時	(4)産業医の実際:職場巡視のすすめ方 生駒医院院長(埼玉県医師会産業医会理事) 生駒賢治	基礎:後期(1) 生涯:専門(1)

10月11日(月)

時 間	テーマ・講師	取得単位内訳
10時-12時	(1)労働衛生保護具とその使い方 十文字学園女子大学教授 田中 茂 他4名	基礎:実地(2) 生涯:実地(2)
12時-13時	昼食	
13時-15時	(2)職場のメンタルヘルスケア-症例検討- 埼玉医科大学総合医療センター神経精神科教授 堀川直史他4名	基礎:実地(2) 生涯:実地(2)
15時-17時	(3)疫学とその産業医活動への応用 産業医学振興財団理事長 櫻井治彦	基礎:後期(2) 生涯:専門(2)
17時-18時	(4)産業医活動の実際:職場における救急処置 埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 竹田理々子	基礎:後期(1) 生涯:専門(1)

平成23年度医学部入学試験日程

募集人員 115名(地域枠5名を含む)

推薦入試

募集人員	約10名	試験科目 適性検査Ⅰ(英語系分野45分・理数系分野70分) 適性検査Ⅱ(小論文60分) 面接
出願期間	11月1日(月)～11月10日(水)	
試験日	11月14日(日)	
会場	埼玉医科大学(短期大学校舎)	
合格発表	11月17日(水) 午後1時	

一般入試

	前期	後期
募集人員	約63名	約42名
出願期間	12月13日(月)～1月22日(土)	12月13日(月)～2月12日(土)
試験日	一次試験 1月30日(日) 二次試験 2月 6日(日)	一次試験 2月20日(日) 二次試験 2月27日(日)
会場	一次試験 TOCビル(東京 五反田) 二次試験 埼玉医科大学(短期大学校舎)	
合格発表	一次試験 2月 2日(水) 午後1時 二次試験 2月 9日(水) 午後1時	一次試験 2月23日(水) 午後1時 二次試験 3月 2日(水) 午後1時
試験科目	一次試験 数 学 60分 (数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 数学A・B。ただし, 数学Bは「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とする) 理 科 100分 (「物理」, 「化学」, 「生物」の中から2科目を選択) * 下記参照 外国語 80分 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング) 小論文 60分 (基礎学力試験) 二次試験 面接	

* 物理; 「物理Ⅰ・Ⅱ」ただし, 物理Ⅱの選択分野「物質と原子」は「原子, 分子の運動」の範囲, 「原子と原子核」は「原子の構造」の範囲に限り, 両分野とも出題範囲とする。

化学; 「化学Ⅰ・Ⅱ」ただし, 化学Ⅱの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」は両分野とも出題範囲とする。

生物; 「生物Ⅰ・Ⅱ」ただし, 生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」は両分野とも出題範囲とする。

**平成22年度
埼玉医科大学医学部オープンキャンパス開催のお知らせ**

第1回 ; 平成22年7月25日(日)
第2回 ; 平成22年10月3日(日)

会 場 ; 毛呂山キャンパス
受付開始 ; 9時30分

参加を希望される方は、事前にお申し込み下さい。

問合せ先 ; 埼玉医科大学医学部入試事務室
049-295-1000

または、049-276-1112(同窓会事務局)

* 詳しくは埼玉医科大学ホームページをご覧ください。

❖❖❖ (仮称) 埼玉医科大学教育棟新築工事 安全祈願祭 ❖❖❖

医学部定員増に伴う教育環境整備の一環として計画を推進してきた(仮称)教育棟が、平成22年4月22日(木)10時より、本部棟に隣接した外科別館跡地にて、理事長、学長はじめ学内関係者、工事関係者列席のもと安全祈願祭が挙行された。

人類愛と倫理観ある医療人の育成
将来の大学教育に対応した柔軟な講堂
充実したIT環境と学習支援体制
環境負荷低減や自然との共生を考慮したエコキャンパスの推進

等をコンセプトに、毛呂山キャンパス全体の核的位置づけになる様設計された。

地上4階鉄骨造、延べ面積2,997.83㎡、1階はエントランスホール及び談話コーナー・154人収容の普通教室、2階は154人収容のマルチメディア教室と普通教室の2室、3階は可変可能な154人収容の普通教室2室、4階は試験会場として1室または4室の小教室に可変可能な154人収容普通教室2室となっており、竣工は平成23年3月中旬の予定である。



鋤入れ 丸木清浩理事長



(学内報165号より)